

産業科学AIセンター 技術支援メニュー

具体的な技術支援例の紹介

<https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/labs/aic/>

技術支援で相談できること

次のようなことで困っていませんか

研究にAIやデータ解析を取り入れたいが、進め方が分からない

実験データはあるが、前処理や解析方法が定まっていない

データがPCや外付けHDDに分散し、検索・再利用しにくい

研究構想や申請書にAI要素を入れたい

繰り返している解析作業を効率化したい

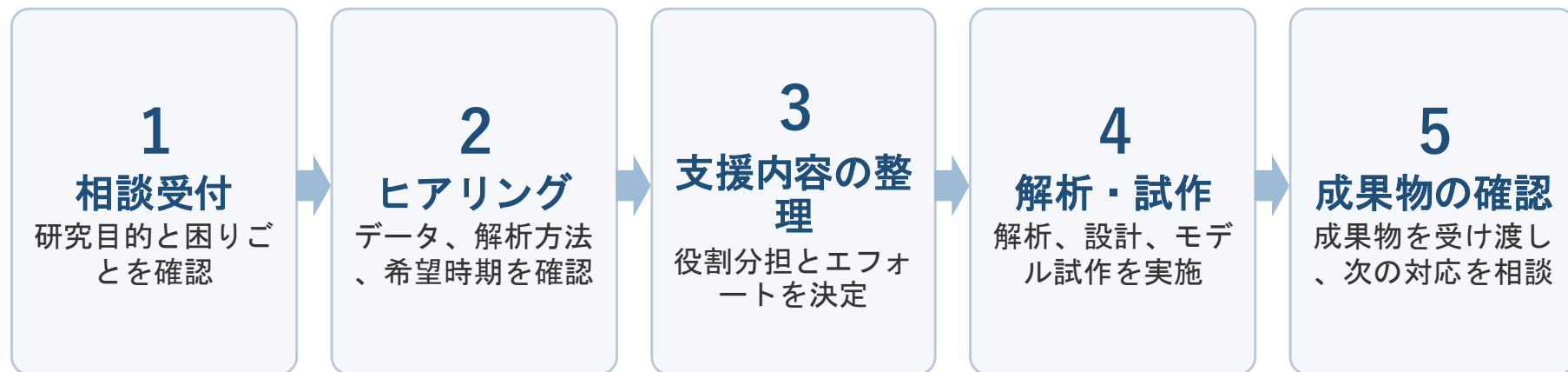
支援メニューと想定エフォート

支援メニュー	想定エフォート
1. データ解析支援	小～大
2. 研究データ基盤支援	中～大
3. 技術相談・研究相談	小～中
4. AI融合研究の企画・申請支援	小～大
5. セミナー・講習会	中

※内容、データ量、期間、必要な環境に応じて、初回相談後に決定します。
小 / 中 / 大 の大まかなイメージ。

小: ～10時間(5%)程度/1ヶ月, 中 5～10% / 1ヶ月～3ヶ月 大 15%～/ 3ヶ月以上

相談から支援までの流れ



相談時には、研究目的、データの例、現在の解析方法、希望する成果をご用意ください。

1. 実験データを解析したい

相談時に必要なもの

実験、画像、スペクトル、時系列などのデータ

測定条件、ラベル、研究上の問い

現在の解析方法と困っている点

成果物

解析コード、Notebook、図表、解析レポート、再現可能な解析環境

支援内容

データの前処理と可視化

統計解析と機械学習モデルの試作

解析スクリプト・Notebookの作成

解析手順と結果の整理

解析スクリプトのツール化・解析基盤化

実施例

インフラセンサデータ (歪センサ)の解析, 可視化、解析レポート・notebookの作成, 予測モデルの試作等.

想定エフォート 簡易解析：小 モデル試作：中 解析基盤化：大

2. 研究データを整理・検索できるようにしたい

このような場合に

データがPCや外付けHDDに分散している
測定条件や試料情報が整理されていない
データを横断検索・比較できない

成果物

DB設計書、メタデータ仕様書
試作Webアプリ、管理手順書

支援内容

データ構造とメタデータ項目の整理
データベースの設計
検索・可視化機能やWeb画面の試作
解析ワークフローとの連携

実施例

- COI-NEXTフォトニクス拠点におけるラマン画像データのデータベースシステムの構築.
- ARIMの装置データの集約・DX化

想定エフォート 小規模な試作：中～大 本格運用：大

3. AIを研究に取り入れられるか相談したい

このような場合に

AIを利用できる研究課題か判断したい
データの量、形式、評価方法を整理したい
学内対応と外部委託のどちらが適切か相談したい

支援内容

研究目的とデータ内容の整理
AI・データ解析課題としての定式化
実現可能性と必要な環境の確認
次のアクションの提案

成果物

相談記録、課題整理メモ、技術提案書

想定エフォート 相談のみ：小 技術提案まで：中

本内容に関しては、井関特任教授と対応.

→[参考][産業科学AIセンター 外部資金獲得支援メニュー \(PDF\)](#)

4. 研究構想や申請書にAIを取り入れたい

相談時に必要なもの

研究構想または研究シーズ
想定しているデータと解析の目的
公募情報または共同研究の概要

支援内容

研究構想の壁打ちとAI技術要素の整理
データ取得・解析計画の検討
申請書のAI・データ解析部分の記述支援
PoCの設計

成果物

研究構想メモ、AI解析計画案、申請書用
記述、PoC計画

想定エフォート 相談・申請書支援：小～中 PoC・試作：中～大

5. AI・データ解析を学びたい

対象

研究者、学生、技術職員、事務職員
AIやデータ解析を研究・業務に取り入れ
たい方

提供するもの・具体例

講習資料、教材、サンプルコード、録
画

講習内容の例

データ解析・Python入門
機械学習入門
生成AIによる研究・事務支援
所内におけるAI活用事例の紹介

実施例

所内教育プログラム
Python研修 (2023, 2025実施)

想定エフォート 中 内容、演習環境、開催回数により変動

補足・問い合わせ先

【補足】

以下のような内容については、対応可能か、ご相談の際、別途検討させていただきます。

- 定常的な大量データ処理
- 商用レベルのソフトウェア開発・保守
- 長期運用を前提とした大規模システム

問い合わせ先

技術支援に関してはこちらまで

問合せ先 AIセンター 技術職員 山中 卓也
e-mail : t-yamanaka@sanken.osaka-u.ac.jp